

# 「位置座標」の有無 国土

国土地理院が測量行政懇談会(委員長、清水英範東京大学大学院教授)の下に設置した「地図の利用手続部会(部会長、井上由里子一橋大学大学院教授)は、複製・使用承認制度の改善や公共測量成果の流通の促進を中核とする測量成果の利用手続の見直しに向けたこれまでの検討結果をまとめ、同懇談会に報告した。承認制度における判断基準は、紙

地図・デジタルを問わず、測量成果の「位置座標」を持つか否かとすることが妥当とし、地理院地図で使用している地図データ(地理院タイル)については、測量成果そのままの複製を承認可とすべきとの考えを示した。

基本測量の成果が適切でない方法で複製・使用され、正確さが損なわれることを防止するため、測量法第29条は測量成果の複製は国

土地地理院長の承認を要する規定。

また、同様の理由で、測量法第30条は基本測量の成果を使用して地図調製を含む測量を実施する者は国土地理院長の承認を得る必要がある、と規定している。

ただ、地図を巡る社会環境はこの10年近くの間大きく変化している。

同部会は、今回の複製・使用承認制度の見直しに向けた検討に当

## 「防災・減災について」技術懇話会を開催

### 日本技術士会佐賀県支部



行政関係者も含めた参加者



福岡大学工学部 佐藤研一教授 講義を行う

公益社団法人日本技術士会佐賀県支部(盛永保弘支部長、事務局・(株)親和コンサルタン)は1日、武雄市の佐賀県立宇宙科学館ガイダンス室で「防災

・減災について」と題し、NPO技術交流フォーラムとの共催で2018年度第2回技術懇話会を開催した。今回は豪雨による地盤災害と災害廃棄物処理をテーマとし、会員

以外の行政関係者も含め、34人の参加があった。

最初に佐賀大学理工学部都市工学科の末次大輔准教授が「豪雨による地盤災害と取り組むべき課題」と題して講演。近年の豪雨災害である12

年7月と17年7月の九州北部豪雨について、地質面から①花崗閃緑岩②泥質片岩③豊肥系火山岩類の特性による浸食・崩壊の特徴などを傾斜角も加味しながら説明した。

さらに今後取り組むべき地域性を考慮した地盤災害対策の一つとして、県内の過去の災害記録を集積・見える化した「佐賀県防災・災害情報アーカイブ」の紹介があり、積極的な活用を訴えた。

続いて、福岡大学工学部の佐藤研一教授が

「災害廃棄物処理の現状とこれからの対応」と題して、16年の熊本地震、17年の九州北部豪雨、11年の東日本大震災における災害廃棄物処理の実態について豊富な写真を例示しながら説明した。

災害時の廃棄物対策の3つの柱として①尿②生活ゴミ③災害廃棄物(がれき)があるが、がれきについては仮置き場の選定、搬入路の整備、仮置き場での分別、仮置き場での維持管理などに関して、市町や県などを中

最後に廃石膏ボードを粉砕しての再利用と、近年山林を浸食している竹林を伐採しチップ化して舗装に再利用するなどの事例紹介もあった。

陸上 小郡 度一般 算案が 補 2万円 補

となつている「IoT時代」が到来しているとの認識を共有。さらに、行政が保有する情報のオープンデータ化が進む世界的な流れを受けて、「官民データ活用推進基本法」が2016年に施行されたことを踏まえ、基本測量成果を利用しやすくすることを前提とした検討を行ってきた。

部会は、承認手続の簡素化・迅速化についても提言。承認が不要の必要を指摘。

その上で、承認の判断が容易な場合、即日か、翌開庁日の承認とするよう促した。

また複製・使用承認制度の改善に関連して、承認したリストをWEB上で公開することや、地方公共団体が行う測量法第43条および第44条の複製・使用承認についても国土地理院にならう形で運用を変更する方向で技術的助言を行うことを求めた。

さらに、公共測量成果の流通を促進するため、



児童たちの安全を見守った

## 児童らの登校見守る 森永建設が交通安全活動

森永建設(佐賀市久保田町、森永浩通社長)は10日、佐賀市久保田町の小中一貫校思斉館前の交差点で朝の交通安全活動を行った。森永社長と社員2人が交差点に立ち、あいさつを交わしながら登校する児童らの安全を見守った。

同社では毎月10日を活動実施日と定め、登校時の安全確保に努めている。活動は長く続けてお

測量士・測量士補試験 1月4〜28日まで

国土地理院は、2019年の測量士試験と

1月4日 測量士 行つ。 1月19日 行つ。 1月28日 行つ。 1月29日 行つ。 1月30日 行つ。 1月31日 行つ。

り、児童たちは、見守りに対して元気よく「おはようございます」とあいさつをしていた。

一緒に見守りを行う同校小学部の今泉徹校長は、恒例となった活動に対して「子どもたちの安全を確保していただく大変助かっていて。人とのコミュニケーションでは特にない

元気に ば、一 気持ち 活 を交通 めだけ や地域 の向上 と思っ 通学路 いても になれ